



横浜FCホームゲームにおける「SDGsマッチ」開催

事業目的

横浜 FC の掲げるミッションは「横浜という地域社会にとって欠かすことのできない、【楽しみ、心の拠り所、プライド、街のシンボル、大切な産業】として多くの人に認められる「社会的装置」の役割を担う存在になる。」です。

横浜 FC ではJリーグや本クラブの掲げる理念のもと、2008年3月にサッカークラブとして初の ISO14001 を取得。2019年3月に ISO20121 を取得し、永く地域に貢献する組織になることを目指しています。

横浜 FC ではサステナビリティに関する取り組みの一つとして、SDGs の普及・啓発を掲げています。社会への貢献に限らず、横浜 FC の認知やブランド力及び企業価値の向上など企業経営に好影響を与えることを目標としています。

事業計画

【内容】

- 横浜 FC のホームゲームにて「SDGs マッチ」と冠した公式戦を開催します。※2019年11月3日V・ファーレン長崎戦にて開催を調整中

横浜 FC が本事業を通じて最も達成したいことは、SDGs のゴールの一つである「17. パートナーシップで目標を達成しよう」の考えに即しています。横浜 FC のSNS等を利用した情報発信、またステークホルダーを巻き込みながら自らが SDGs に関する活動を主体的に推進することで、新たなビジネス機会の創出等を目指しています。サッカーやスポーツの持つ、人々を集める力や巻き込む力を使って、横浜 FC が下記取り組みを実施し情報発信をおこなうほか、関係する企業や団体の協力を得て各ゴールに関連するブース出展等を予定しています。

- 「SDGs マッチ」における横浜 FC の具体的な取り組み

ゴール 2) 飢餓をゼロに

ホームゲームにおけるキッチンカーにて、地元食材を使ったメニューの提供など、食材の地産地消促進及び食に関わる情報発信を実施します。

→地元食材を使ったメニュー開発とスタジアムでの提供

→フードロスを削減するキャンペーンの実施

例) プロ選手による啓発映像放映「ごはんを残さず食べよう！」

ゴール 3) すべての人に健康と福祉をスポーツ観戦といった楽しみおよび運動機会の提供、そして体を動かすきっかけづくりを支援します。

→SDGs マッチの事前開催告知及びサッカー教室・指導者派遣

→スタジアムでのキックターゲット体験

例) SDGs の17つのゴールが描かれた的にボールを当てることが出来れば、それぞれの背番号の選手が描かれた特製ステッカーをプレゼント

ゴール 12) つくる責任、つかう責任

広告宣伝物の電子化やリユースカップによる資源の利用削減及び、リサイクル等に関する情報発信を実施します。

→横浜 FC のリサイクルグッズ販売及び来場者への配布とキャンペーンの実施

例) イベント広告や案内図、マッチデープログラムの電子化

例) 廃棄物削減キャンペーン「チャレンジ！スタジアムで出るごみをなくそう。」

ゴール 11) 住み続けられるまちづくりを

ゴール 13) 気候変動に具体的な対策を

ホームゲームにおいてカーボン・オフセットの実施及び清掃活動を実施します。

→横浜 FC のホームゲーム来場者数に応じたカーボン・オフセットの実施

→LEADS TO THE OCEAN 活動 海につづくプロジェクト（清掃活動）の実施

→ペットボトルキャップ回収プロジェクトの実施

【体制】

- 弊社が通常のホームゲーム運営に加え、プロジェクト全体の統括、及び関係各所との交渉に当たります。

- SDGs やサステナビリティに関する取り組みについて、活動実績やネットワークを持つ、株式会社セレスポ様をはじめ、横浜 FC の既存のスポンサー企業などには企画概要についてご説明をし、隨時ご協力を頂きながら開催することを予定しています。

問合先

株式会社 横浜フリエスポーツクラブ

代表取締役 上尾 和大

〒240-0045 神奈川県横浜市保土ヶ谷区川島町 522-3

TEL: 045-372-5212 (担当: 経営サポート部 金子 洋之)

FAX: 045-372-5211 E-mail: h.kaneko@yokohamafc.com